



江別ユネスコ協会事務局だより 2015年3月3日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6/教育委員会生涯学習課内(担当石津☎381-1069)

「日本の美しいカレンダーをありがとう」～インドから礼状届く

江別ユネスコ協会の本年度「カレンダーの国際交換事業」の一環として、インド国アラハバード県のサム・ヒギンボトン大学继续教育学部へ、会員が集めたカレンダー（主に日本の風景・動植物などを描いたもの。各企業の社名入り。）を8部、1月26日に手紙を添えて発送しました。早速、学部長の三浦照男先生から礼状が届きましたので、その文面をここに転載させていただきます。なお、三浦先生のインドでの教育活動について書いた文章をコピーして、会員の皆様にお配りします。

「2015年2月6日、(江別ユネスコ協会会長) 田村 邦雄 様

昨日、貴協会よりカレンダーが届きました。毎年、美しいカレンダーを送ってくださり、ありがとうございます。早速、弊学部の事務所、教室、寮等に使用させていただいています。弊学部にはいつも5～6人の日本人がスタッフ又は学生として滞在していますので、このような日本のなものを飾ることによって、癒されるものがあります。

ニュースによりますと、北海道は寒波に見舞われ、大変な状況と聞いております。大事なければと案じております。同封の印刷物は、私たちの事業を支援してくださっている団体のニュースレターです。参考までにお送りいたします。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

三浦 照男、继续教育学部（マキノスクール）学部長」

三浦先生は北海道赤平市のご出身。酪農学園大学酪農学科を卒業後、フィリピン国立大学ロスパニョス校大学院博士課程・米国カンサス州立大学大学院博士課程を修了（農村社会学・開発社会学・持続可能な開発論・食糧問題などを専攻）、カンサス州立大学講師ほか多彩な職歴をお持ちです。

「大垣祭のやま行事」を「山・鉾・屋台行事」へ～追加推薦決定

文化庁は本年2月17日、ユネスコの無形文化遺産候補「山・鉾・屋台行事」の中に、岐阜県大垣市の「大垣祭のやま行事」を追加すると発表しました。「山・鉾・屋台行事」の推薦については本紙2014年6月5日号でお知らせしたとおりですが、「大垣祭のやま行事」が追加されると18府県にまたがり33件の祭礼行事を一括推薦することになり、成り行きが注目されます。

これにより日本政府は3月中に関係省庁連絡会議にはかり、あらためて推薦書をユネスコに提出し直す見込みです。なお、無形文化遺産に登録されるか否かは、2016年11月に開かれる政府間委員会（開催国未定）において審査されることとなります。

「十勝岳」は世界ジオパークになれるか？～推進協議会が発足

「十勝岳と山麓周辺」の日本ジオパーク認定を目指す上富良野町と美瑛町の2町は、本年2月17日、「ジオパーク推進協議会」設立準備委員会を美瑛町役場で開きました。ジオパークとはジオ（地球）に関わる自然遺産（火山・地層・地形・断層等）を含む自然公園のことで、2004年にユネスコの支援をうけて世界ジオパーク・ネットワーク（GGN）が設立され、盛んになりました。現在、日本から洞爺湖有珠山・隠岐・阿蘇など7地域がGGNに加盟し、2014年10月現在、世界の111地域が加盟しています。その傘下にNPO法人・日本ジオパーク・ネットワーク（JGN）が組織され、北海道のアポイ岳・白滝・三笠・とちか鹿追を含む29地域が加盟して、世界ジオパーク・ネットワークに昇格するチャンスをねらっています。ジオパークは地質遺産と訳されることがありますが正式名称ではなく、日本ジオパーク委員会では「大地の公園」という訳語を使っています。

